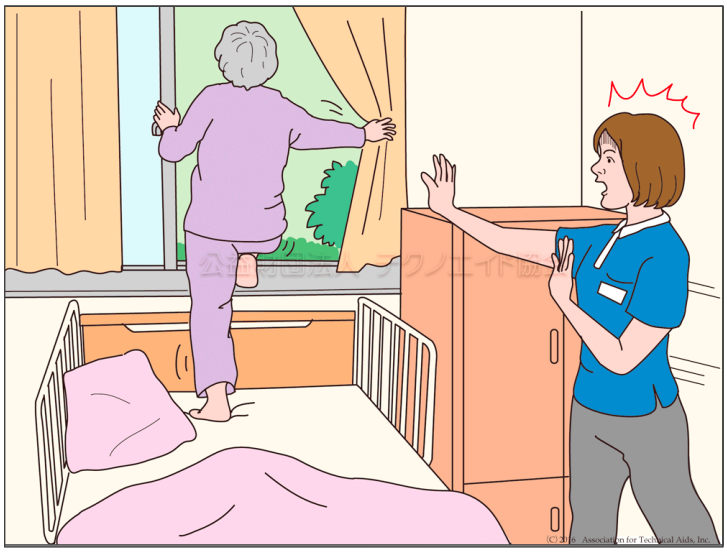
# 福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：319
ベッドの上に立ち上がり、窓から転落しそうになる

## 場面の説明

認知機能の低下や一時的な不穏症状などにより、ベッドの上に立ち上がり、窓から転落しそうになった



| | |
|---|---|
| 利用シーン | その他 |
| 主な利用場所 | 寝室 |
| 介護保険の種目 | 特殊寝台 |
| 分類コード (CCTA95) | 181209 (電動ギャッチベッド) |
| 介護テクノロジー | ー |
| 二次元バーコード | |

## 解説

認知機能の低下や一時的な不穏症状などがあり、外出したい欲求の強い人におこる現象です。
ベッドの高さが窓枠と近くなると、ベッドを踏み台にして窓から出ようとする事例があります。
そのような場合、ベッドを窓から離すか、ベッドの低床設定、感知器の設置等を検討しましょう。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：認知機能の低下や一時的な不穏症状、外出したい衝動などがあった
人：介助者の行動を予測した対応が不足していた
環境：窓にベッドが近かった。窓枠に足をかけやすい高さにベッド高が設定されていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.